

R3 年度地域課題WG 中間報告書

提出日 令和 7年 3月 10日 WG名 医療的ケア児の移送についてのワーキング

テーマ

○医療的ケア児の支援における多くの課題の中で、移送においては個別対応や看護師の付き添い等が必要となるため、ほとんどの部分を家族が担っている実態があります。

話し合った内容・得られた結果	次回のテーマ・新たな課題	今後の方向性
<p>医療の進歩に伴い、医療依存度の高い児童も早期に退院し在宅で生活することが増えてきたことにより、医療的ケア児の通院、外出について課題となっています。特に遠方の病院への通院の際、移動にかかる時間が長時間にわたるうえ、高速道路を使用し移動することも多くあります。道中、医療的ケア児の様子確認や吸引等の医療的ケアを運転する家族が担っており、不安や負担感が大きいのが現状です。</p> <p>令和3年に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が成立し、他地域や他県においては、既存の障害福祉サービスを補完するための支援制度を新たに開始しています。長野市においても医療的ケア児の支援充実を図っていくため、下記の事業について検討し、令和5年度全体協議会にて提案しました。</p> <p>○「(仮)医療的ケア児通院時同行支援事業(案)」</p> <p>医療的ケア児が通院する際に、看護職員等が同行することで、医療的ケアを伴う支援が可能となり、安全な通院の実施と家族の負担軽減を図る。</p>	<p>現在、令和7年度中の事業開始に向けて障害福祉課を中心に実施要項等の検討を行っています。</p> <p>ワーキンググループを継続し、障害福祉課や関係機関と連携を図りながら事業がスムーズに開始できるように協力していきます。</p>	<p>■ 継続</p> <p>■ 施策化</p> <p>□ 再WG化</p> <p>□ 終結</p>